



# せんだん

【学校教育目標】自ら気づき、考え、判断し、  
主体的に行動する児童の育成

第8号 令和7年11月5日 校長 松尾信広

## ☞運動会に向けての親子除草作業、ありがとうございました！

10月5日（日）に親子除草作業を行いましたところ、週末にもかかわらず、多くの保護者・子ども達・ご家族が参加してくださいました。また、当日参加できないので事前に除草等をしてくださった方もいらっしゃったと聞きました。おかげさまで、親子山や溝などを含めた運動場全体がとてもきれいになりました。これで気持ちよく運動会を迎えることができます。育友会役員の皆様、参加してくださった皆様、お忙しい中、またお休みのところ、本当にありがとうございました！



## ☞そして、仲間と力を高め合えた二里小運動会となりました！

そして、きれいになった運動場で、10月19日（日）に二里小運動会を開催することができました。『みんなで団結、あきらめず、優勝めざして突っ走れ！』のスローガンのもと、子ども達は素晴らしい輝きを見せてくれました。開会式の校長の話から天気が怪しくなり始め（笑）、十数分間雨に見舞われましたが、テント内での選手宣誓やラジオ体操も記憶に残る出来事になったかと思いま



す。また、今年の運動会から、青と赤の2分団編成や午前中開催などの変更を行いました。子ども達の頑張りや皆様の応援のおかげで、中身のぎゅっと詰まった素晴らしい運動会となりました。

徒競走では、勝つていようが負けていようが真剣に走り切る姿に胸が熱くなりました。レク走は各学年工夫が凝らしてあって、笑顔で駆け抜ける子ども達が印象的でした。6年生の「こんなに大きくなりました」は、家族との温かい絆を感じさせる素敵な競技となりました。

学年グループや全校児童による団体競技も白熱しました。「チェッコリ玉入れ」は可愛いダンスと真剣な玉入れが行われ、1・2年生の表情の豊かさが微笑ましく、3・4年生の「台風の目」は、チームワークの良さや熱のこもった応援で一層競技を盛り上げてくれました。そして、全校綱引きでは赤も青も全力を尽くして、終了の合図があるまで引き切ることができました。楽に勝敗がついた対戦はなく、応援している私たちも手に汗を握りました。また、応援合戦も大変に見応えがありました。私は審査員だったので目の前で見ていたのですが、熱量がものすごく、子ども達のエネルギーをひしひしと感じました。まとめ上げたリーダー達も素晴らしかったです。団体演技である5・6年生の「ソーラン節」は、練習時の子ども達のやる気からして相当なものでした。本番の踊る姿に感動と伝統を感じました。そして最後の「分団対抗リレー」は、代表として恥ずかしくない力走を見せてくれました。応援する子ども達も必死で、二里小の子ども達の一生懸命さを強く感じた場面となりました。どの競技も演技も、子ども達が本当に輝いていた運動会でした！

5・6年生の係の子ども達は準備や練習を繰り返しながら、縁の下の力持ちとなって運動会を支えてくれました。また、運動会を陰で支える役を担っていただいた育友会役員の皆様、運動会終了後に後片付けを手伝ってくださった保護者の皆様、お忙しい中応援に駆けつけてくださった家族・地域の皆様、本当にありがとうございました。今後とも引き続き、子ども達への応援をどうぞよろしくお願いいたします。

